



# 生理の貧困は“だれ”の問題？

## ～「月経」からみえる社会～

参加  
無料

コロナ禍において、日本でも「生理の貧困」という言葉が急速に広まりました。今回のパンデミックは月経にどのような影響をあたえたのでしょうか。

また、近年多様化する生理用品から月経のあり方の変化についても、皆さんと一緒に考えたいと思います。



**講師：杉田映理**

大阪大学人間科学研究科 准教授

アフリカの水、衛生、月経に関して長年フィールドワークを実施してきた。現在は「月経をめぐるウェルビーイング」を考えるアクションリサーチを国内対象に実施している。

2022年 **1月29日** 土曜日 / 13:30～15:30

- 会場：豊中市蛸池公民館 第1講座室
- 定員：20人(要申込み／先着順)
- 対象：テーマに関心のある人
- 申込み：1月4日(火)10:00～  
電話・FAX・窓口・Webフォームにて受付
- 一時保育：1歳～小学3年生まで(5人先着順)  
子ども一人につき550円(税込)  
＜要事前申込 1月22日(土)15:00締切＞

お申込み  
フォーム  
裏面

《問い合わせ》

TEL 06-6844-9773 FAX 06-6844-9706

メール kouza@toyonaka-step.jp (講座担当)

【主催】とよなか男女共同参画推進センターすてっぴ

(指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

〒560-0026 豊中市玉井町1-1-1-501 (水曜休館)

<http://www.toyonaka-step.jp/>



申込Webフォーム

すてっぴ



